

管理ポータル - アウトバウンド通話プラン

carrier.webex.com/outbound_calling_plans_rep/

2017年12月22日水曜日

[ホーム](#) | [管理者ガイド](#) | [管理者ポータル - アウトバウンド通話プラン](#)

[概要](#) [ロケーションに対するアウトバウンドコールConfigure](#) [個人ユーザーに対するアウトバウンドコールConfiguring Actions](#) [通話プランy](#) [戻る](#)

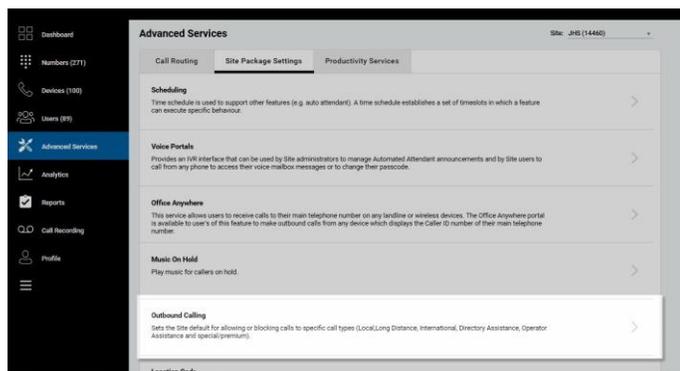
概要

管理者は、各サイトおよび特定のユーザー/電話番号の顧客のアウトバウンド通話プランを管理できます。アウトバウンド通話は、さまざまな通話先タイプに発信される通話の動作を規制します。

- 社内 (社内の)
- ローカル
- 長距離通話
- 無料通話
- 国際通話
- オペレーター アシスタンス
- 充電可能なディレクトリ アシスタンス
- 特別サービス I
- 特別サービス II
- プレミアムサービス I
- プレミアム サービス II

ロケーションのアウトバウンドコールの設定

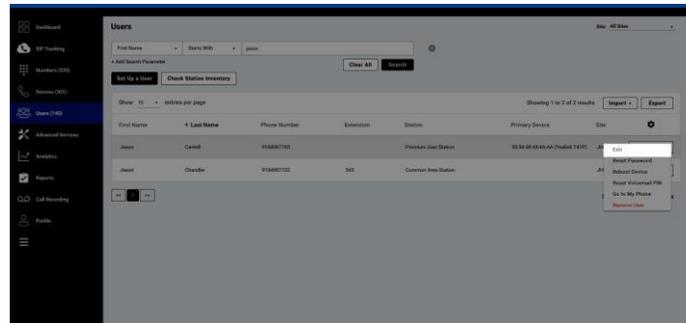
1. 管理ポータルにログインし、サイトを選択します。
2. 左側ナビゲーションメニューの**高度なサービス**を選択します。
3. 次に、[サイトのパッケージ設定] セクションで [発信コール] を選択します。



画像をクリックすると拡大表示されます 

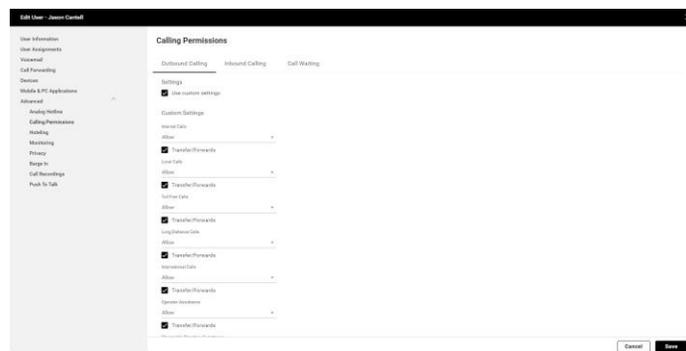
個々のユーザーのアウトバウンドコールの設定

1. 管理ポータルにログインし、サイトを選択します。
2. 左側ナビゲーションメニューの [ユーザー] タブを選択します。
3. 設定するユーザーを検索し、[アクション] ドロップダウンメニューをクリックします。選択
[編集] を選択します。



画像をクリックすると拡大表示されます 

5. [ユーザの編集] ダイアログが表示されたら、[通話権限] をクリックします。ここでアウトバウンド通話を設定できます。



画像をクリックすると拡大表示されます 

アウトバウンドコールには、最初のデフォルト設定があります。特定のタイプのアウトバウンドコールを許可またはブロックするビジネスニーズに合わせて変更できます。このサイトレベルのアウトバウンド **Calling** 設定はすべてのユーザーに対してデフォルトですが、ユーザーは [ユーザー別の割り当て/リスト (Assignments/List by User)] セクションで特定のビジネスニーズに合わせて独自のアウトバウンド **Calling** プランを設定できます。

これらはアウトバウンド通話プランのデフォルト設定です。

タイプ

デフォルト設定 転送/転送が有効

内部（イントラコンパニー）	許可する	はい
市内	許可する	はい
長距離通話	許可する	はい
無料通話	許可する	はい
国際通話	ブロック	いいえ
オペレーター アシスタンス	許可する	はい
チャージ可能な電話番号案内	許可する	はい
特別サービス I	許可する	はい
特別サービス II	許可する	はい
プレミアム サービス	ブロック	いいえ
プレミアム サービス II	ブロック	いいえ

設定を行う

発信通話タイプごとに、特定の処理に対してアクションを設定できます。

- サイトまたは番号から発信または転送/転送されるコールのルールは次のとおりです。
 - 許可 - コールを宛先タイプに配置できます。
 - 認証コードで許可 - ユーザは、事前定義されたコードを入力して、[その他のオプション（More Options）] の [認証コード（Authorization Codes）] 画面で定義されている接続先タイプにコールを発信する必要があります。
 - ブロック - コールは宛先タイプにブロックされます。
 - 第 1、第 2、および第 3 への転送 - 宛先タイプに試行されたコールは、[その他のオプション] の [転送番号] 画面で定義されている指定された番号に転送されます。
 - [転送/転送（Transfer/Forwards）]: チェックボックスをクリックして、特定のコールタイプを別の番号に転送または転送できるかどうかを選択します。有効にすると、ユーザは通話タイプを別の番号に転送または転送できます。

- ◆ **認証コード**このタイプのコールでは、許可される前にユーザが認証コードを入力する必要があります。コールプランのアクションドロップダウンで使用する前に、少なくとも1つの認証コードを定義する必要があります。
[その他のオプション]で、[認証コード]を選択します。リスト内のコードの説明は変更できません。説明を編集する必要がある場合は、コードを削除し、新しい説明で再度追加します。

- **コードリスト** - 以前に定義されたコードのリストがリストに表示されます。リストは、ポップアップウィンドウの上部にある検索バーを使用して検索できます。
- **コードを追加する** - 新しい認証コードを追加するには、[追加]をクリックします。ポット名「番号を追加」数字はドロップダウンボックスから入力または選択できます。2～14桁の整数でなければなりません。コードリストに表示するコードの簡単な説明を入力します。
- **コードを削除する** - コードリストを表示するときに、一番左の列のボックスを押して、削除するコードまたはコードを選択します。[削除]ボタンをクリックします。選択したコードはリストから削除され、入力された場合はコールの処理は許可されません。

- ◆ **番号を転送する**

以下の適切なフィールドに番号を入力します。これは、ユーザが [1への転送]、[2への転送]、または [3への転送] 設定で定義されたタイプのコールを発信するときに宛先番号として使用されます。

- **Transfer Numbers 1** - 「転送番号1」設定に使用する電話番号。
- **Transfer Numbers 2** (転送番号2) :2番目の設定への転送に使用する電話番号。
- **Transfer Numbers 3** (転送番号3) :第3設定への転送に使用する電話番号。

Copyright © 2016, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.